

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回12月の「てがたん」は12月13日(土)で、「落葉と木の実」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは12月6日(土)です。よろしくお願いいたします。

11月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→手賀沼遊歩道→滝下広場→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2008年11月8日(土)/曇り
- 参加者 22名(一般13名 子ども2名)
- スタッフ 7名(石原直子、伊東茂子、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1名(岡廣志)

観察記録 - 11月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモ科：カルガモ/カモメ科：セグロカモメ
カワセミ科：カワセミ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ
エナガ科：エナガ/シジュウカラ科：シジュウカラ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ
ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス

【両生類・魚類・甲殻類】 アカガエル科：ウシガエル

【昆虫・クモ】 [サシガメの仲間] ヨコヅナサシガメの幼虫 [イラガの仲間] イラガのマユ(種不明)

【草の実(くっつき虫)】

キク科：コシロノセンダングサ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、タウコギ、オオオナモミ/タデ科：ミズヒキ
ハエドクソウ科：ハエドクソウ/ヒユ科：ヒナタイノコズチ、ヒカゲイノコズチ/マメ科：ヌスビトハギ
イネ科：チカラシバ、チヂミザサ

【木の実】

ニレ科：エノキ、ムクノキ、ケヤキ/クマツヅラ科：クサギ/ブナ科：シラカシ/クスノキ科：クスノキ、シロダモ
メギ科：ナンテン/ミズキ科：アオキ/アケビ科：ムベ/モクセイ科：トウネズミモチ

【草本】

キク科：アメリカタカサブロウ(花)、カントウヨメナ(花)/タデ科：イヌタデ(花)、ヤブタデ(花)
イネ科：コツブキンエノコロ、ヌカキビ、イヌビエ、セイバンモロコシ、アキメヒシバ、メヒシバ
ヤマゴボウ科：ヨウシュヤマゴボウ(実)/スミレ科：スミレ(花)/ゴマノハグサ科：トキワハゼ(花)
ウリ科：カラスウリ(実)/アカネ科：ヘクソカズラ(実)/ヒユ科：ホソアオゲイトウ(花)
ホナガイヌビユ(花)/ユリ科：キチジョウソウ(花)、ジャンヒゲ(実)



今回の案内人
古川克彌さん



今回のがたんのテーマは「木の実・くさの実・くつつき虫」でした。気温が低く冬のような天気で、昆虫や動物はほとんど観察できませんでしたが、冬眠直前のウシガエルがいたりして冬の訪れを感じさせる観察会でした。くつつき虫は12種みつけることができました。



コシロノセンダングサとコセンダングサの花

←とてもよく似ていますが、コセンダングサは白い花（舌状花）がありません。



カラスウリの実と中に入っていた種



庭木にあったメジロの巣



チヂミザサの葉

↑葉が縁が波打った笹の葉に似ているのが名の由来です。粘液には独特の香りがします。



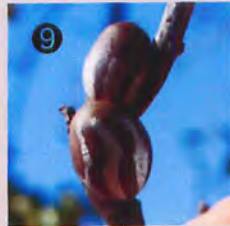
11月の観察コースと見た生き物



→オオオナモミの実の先端の2つの突起はめしべにあたります。めしべが2つあるので種も2つできるはず。今回、てがたんで実を割ってみて種を2つ観察しました。



イラガのマユと前蛹



イラガのマユ



木にとまるダイサギ



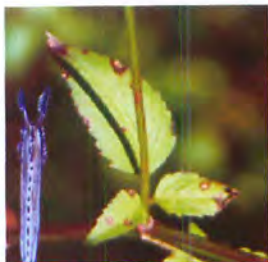
コスモスの実



↑実の縦断面

取り出した種

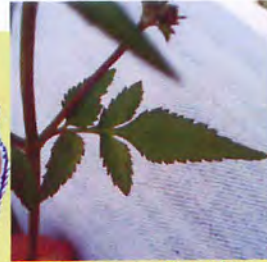
くつつき虫たちの葉にも注目！



コセンダングサ



アメリカセンダングサ



コシロノセンダングサ

センダングサの仲間は小葉が3~5枚あることが多い。コセンダングサもアメリカセンダングサも葉に大きさがそろったギザギザの鋸歯があります。コセンダングサは葉の両面に短い毛が生えますが、アメリカセンダングサはほぼ無毛です。



ハエドクソウ



↑瞬膜を閉じて少し迷惑顔！？
冬眠直前のウシガエルを発見！

WANTED ~その他のくつつき虫も探そう~



ヤブジラミ

ヤブジラミはセリ科のくつつき植物です。手賀沼周辺にも生えています。てがたんコースでは見られませんが、ぜひ探してみてください。

てがたんにご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております！